

### 第3回基町地区活性化計画協議会の協議結果

#### 1 日時等

日 時：令和2年1月7日（火）19時00分～20時00分

場 所：基町中央集会所

出席者：徳弘委員、瀬戸口委員、中村委員、有馬委員、植田委員、本田委員、山本委員、  
橋場委員、今富委員、石田委員

報道関係：3社（広島テレビ、ホームテレビ、中国新聞）

傍聴者：13名

#### 2 協議結果

##### (1) 議題について

資料（基町地区活性化計画（素案））により説明した。

（中村委員）

- ・活性化計画（素案）については、良いものを作っただき感謝している。
- ・基町小学校の教育の充実の内容の部分について、「教育を充実させる」とあるが、今まで充実していなかったのかという意見が出ると思うので、「教育をより充実させる」としていただけないか。
- ・取組の目標を記載していただき、良いことだが、これが第一歩であり、地域としても、この7人だけではなく、自治会からも役割を決めてやっていきたい。また、行政も縦横の連携をとって取組を進めていただきたい。
- ・この度導入する介護事業所について、基町地区は要介護1・2の方が多いのもの、金額が高いこともあり、利用できない者が出てくるのではないかと。基町に適合するのか危惧している。利用の幅を広げる対策の検討が必要になるのではないかと。

（事務局（空田基町住宅担当課長））

- ・基町小学校の教育の充実について、確かに既に充実した教育を行っているので、「より充実」など発展させるという表現にさせていただく。
- ・行政として、関連部署としっかりと連携して取組を進めていく。
- ・介護事業所の利用については、決定した介護事業者に地域の実状などを説明しながら、一緒に取り組んでいきたい。

（本田委員）

- ・この活性化計画（素案）は、非常によくまとめられている。
- ・この計画に掲げた取組を実施するためには、さらに役割などを細分化していく必要がある。前回の活性化計画では何も変わらなかったということもあるので、今年度計画を策定して終わりではなく、今年度中から引き続き具体的な細分化の話を進めていただきたい。
- ・基町小学校に魅力があれば、若者は入ってくると思う。
- ・中区建築課の窓口の対応が悪くて基町の入居をあきらめた人もいる。今後はこの協議会などに中区建築課の職員も出席して、話を聞いていただけないか。また、どの地区も同じように家賃滞納や親の死亡で退去の通知を出しているようだが、基町地区は他の地区とは違う事情があるので、中区建築課には基町に詳しい担当の職員を配置していただけないか。

(石田委員)

- ・中区建築課の対応の件については、これまでも本田委員より意見をいただいております、建築担当部長にて対応しているが、個々の入居者に応じた対応ができるだけ必要ということだと思う。改めて少しでも良くなるよう話をしてみる。

(山本委員)

- ・基町小学校の今後のビジョンについては、学校とも今後も継続して話をしていくと、教育委員会から伺っているので、安心している。
- ・放課後子供教室について、地域と行政の役割がはっきり分けられているが、この辺りの説明を詳しくしていただきたい。

(事務局（橋本放課後対策課長）)

- ・放課後子供教室については、今年度、市内初の取組として、基町地区で開始した事業であり、5月下旬から週1回程度のペースで実施している。
- ・運営に当たっては、徳弘座長や山本委員に委員をしていただいている運営委員会があり、その中に県立広島大学の先生や学生も入ってもらった上で、中心になって活動していただいている。活動に当たり、運営委員会には行政から予算措置を行っている。
- ・地域の役割という点については、運営委員会の役割を地域の役割として記載したものである。
- ・一方で、行政の役割としては、市内初ということもあるので、地域の方や県立広島大学の先生等と一緒に試行錯誤しながら、課題があれば対策を検討して取り組んでいく。

(植田委員)

- ・この活性化計画（素案）は、基町の問題点等が、よくまとめられている。どうやって問題を解決していくか、大きな課題もあると思っている。
- ・Uターン制度に力を入れていただき、本当にありがたい。Uターン制度により若い兄弟が帰ってきて、今まではできなかったことだ。このように入居の幅が広がったことは、基町を出た若者にも、その親にとっても心強いと思う。
- ・世帯分離（同居する親子などが世帯を分ける場合にも地区内で共に暮らせるような仕組み）について、以前から要望しているところだが、具体的にどのような形でできるのか、お示しいただきたい。

(事務局（空田基町住宅担当課長）)

- ・Uターンについては、重点取組にも掲げており、地域の方と話をしながら進めていきたい。
- ・昨年4月に特例的入居の制度拡充を行い、Uターンなどを導入した。世帯分離など、制度を運用する中で、課題も出てきたので、改めて皆さんのご意見を伺いながら制度の見直しについては考えていきたい。

(徳弘座長)

- ・Uターン制度については、行政もさらにPRしていただきたい。

(今富委員)

- ・この計画を作って終わりではなく、いかに実効性のあるものにしていくかが大事であり、そのためには、地元の皆さんとしっかり議論し、その意見を計画に反映させることが第一と考えていた。
- ・Uターン制度については、地元から推薦枠という良い意見をいただいて、計画にもしっかりと記載しており、是非早い時期に実現したいを考えている。

- ・世帯分離（同居する親子などが世帯を分ける場合にも地区内で共に暮らせるような仕組み）も含めて、植田委員のご提案にもしっかり応えていきたい。

（有馬委員）

- ・入居者の国籍の違いによる生活習慣等の相違について、基町は市営住宅なので、入居に関しては行政の責任があると思う。生活ルールについて問題があるのであれば、関係の修復を地域任せにするのではなく、行政も関わって、調整を図っていただきたい。
- ・にぎわいという言葉が多いが、具体的に基町でどういうことがにぎわいなのか、イメージできるように考えていただき、お示しいただきたい。
- ・活性化は人づくりだと思う。基町地区は、一人暮らしの貧困世帯も多い。誰も取り残されないように、活性化の息吹が隅々まで行き渡るようにしていただきたい。

（事務局（空田基町住宅担当課長））

- ・外国人の生活ルール問題については、外国人市民相談員による生活相談窓口の開設を重点取組として昨年より実施している。窓口を通じて、どのような課題があり、どう解決していくかなど検討していきたい。
- ・にぎわいのイメージとしては、人が増えるというソフト的なイメージと、老朽化した建物を改修することによりまた人を呼び込むというイメージを持っている。

（中村委員）

- ・行政と地域の役割について、文章をどう解釈するかだと思うが、地域の役割については地域でも議論しなければいけないが、その中にも行政と協働でやるべきこともたくさんあるので、行政は知らないということではなく、協力していただきたい。
- ・取組の中身については、もう少し分かりやすいものにするための議論をする時間が要と思う。こちらが重点施策として提案したものについて順序を追ってやっていただけるということを明確にしていきたい。

（事務局（空田基町住宅担当課長））

- ・活性化の取組は、地域と行政とが協働で取り組むことが基本と考えており、決して地域の役割に行政が関わらないということではない。協働で取り組むということが地域の方に分かるような書き方を工夫してみる。
- ・計画策定後も、推進協議会等の中で、目標や取組内容など議論しながら進めていく。

（徳弘座長）

- ・この協議会を立ち上げた頃は、基町は一枚岩でやっていくと言っていたが、今度は、行政と地域がワンチームで取り組まなければいけない。

（中村委員）

- ・（仮称）基町地区活性化推進協議会は、いつ頃設置するお考えか。

（事務局（空田基町住宅担当課長））

- ・今年度中に計画を策定し、取組を実施していくので、来年度の早い時期に推進体制を構築したいと考えている。

（瀬戸口委員）

- ・6年前の活性化計画よりも良い計画ができたと思っている。
- ・推進協議会は、年1回と言わず、その都度実施していただきたい。今からでも協議をしていきたい。